

令和2年9月28日

第9回（9月）

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

令和2年9月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和2年9月28日（月）10時00分

2. 場 所 11号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	境 民子
委員	西尾 直子
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専

4. 出席事務局職員

学校教育課長 兼教育審議員	永杉 尚久	生涯学習課長	宮脇 浩司
指導主事	大塚 真史	指導主事	成瀬 典子
指導主事	溜渕 知昭	課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也
教育政策係長	吉村 麗月	給食センター 所長	永吉 万寿美
給食センター 整備推進室長	岡村 哲明	社会教育係長	馬場 理恵子
スポーツ推進 係長	前田 恵子		

- 教育長 ○開会宣言 令和2年9月28日（月）10時00分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名（渡邊委員）

1. 前回会議録の承認（西尾委員）
2. 議案

【議第40号 荒尾市放課後子どもプラン運営委員会の委嘱及び任命について（生涯学習課）】

○事務局説明

○質疑

各委員	特になし
-----	------

【報告第6号 荒尾市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱又は任命について（教育振興課）】

○事務局説明

○質問

委員	コロナウイルス感染症の関係で年間に予定している会議が計画どおりに行っているのかどうか教えてほしい。
事務局	食物アレルギー委員会は先週第1回の会議を行った。本委員会については、年1回の開催であるため今年度は計画どおりとなっている。その他、給食関係で行っている会議については、コロナの関係で各先生たちが一堂に集まる会議については、書面開催での対応を行っている。
委員	今、提供している給食は何食か。また、アレルギー食は何食か。
事務局	荒尾・長洲を含めたところで約5,800食を給食センターで作っている。アレルギーは約70名。現在の施設では、アレルギー除去食の対応ができないため、ほとんどの方は弁当を持ってこられている。

【その他（1）9月補正予算について】

○事務局説明

○質問

委員	ICT環境整備費について、児童生徒1人1台の端末は、学校のみで使うのか、常時自宅に持ち帰っても使うのか、また、何か特別な時にだけ持ち帰って使うのかどうなのか。
----	---

事務局	基本的には、どこでも使える携帯電話の電波を使用するので、常時持ち帰ることもできるが、どのような形で使用していくのかについては今後決めていく必要がある。
委員	家でも繋がるってことは、先生と 24 時間繋がるということか。先生の負担が増えるのではないかと心配している。先生の負担を減らすため、導入時には使用できる時間を制限するなどしたほうがよいのではないかと思う。
教育長	これは、ご意見ということでよいか。それでは、今後、事務局にて検討を。
委員	実際に、持ち帰った場合の管理はどうなるのか。かなり忘れ物の多い子とか。また、乱暴な扱いをすることも想定されるが。
事務局	機器の設定や不具合等の保守管理については業務委託し、基本的には、失くしたり壊したりした場合については、市に保管してある予備機と交換するという買い取り方式となる。現時点では、個人弁済というのはない方向で考えている。

【その他（2）小中学校タブレット端末整備運用等業務委託に係る公募型プロポーザル方式の実施について】

○事務局説明

○質問

委員	端末の納品時期はいつになるのか。
事務局	公告における実施要領において、納品期限は 1 月 31 日までとしている。
委員	説明の中のソサエティ 5.0 とは何か。LTE 通信を分かりやすく説明を。
事務局	ソサエティ 5.0 というのは、今がソサエティ 4.0 で高度情報化された社会であり、それを上回る未知の世界で人工知能やロボットの力を借りてより快適な生活を送る社会。LTE とは、携帯電話会社が所有する電波塔から発信する携帯電話等の電波のひとつである。
教育長	その LTE とは、スマホやタブレットに対応できる通信か。
事務局	はい。
委員	実施理由の背景・経緯の中で、情報活用能力が言語能力、問題発見・解決能力と同様に「学習用の基盤となる資質・能力」に位置づけられとあるが、このようだと情報活用能力だけが大事と思われがちだが、あくまでも言語能力、問題発見・解決能力は不易のものとして大人が認識しておかないといけないと感じる。ICT 環境の違いで、都会と田舎の学力に差があるとよく言われるがそれは違うと思う。子どもの内は、しっかり野原で遊び、友達と遊ぶのが大事。ICT 環境が整備されていないと子どもが育たないと言われるのが

委員	とても怖い。プロポーザル方式により応募してきた業者が期待するほどの力を持っているのか。知識や子どもの教育を考えた上での、先生に使い方を教えてくれるのか。業務の中で一番大事なのは研修だと思う。先生たちも不安だと思う。
事務局	<p>今回の公募型プロポーザルの仕様書において、委託業務の中に ICT 機器の導入に当たり円滑に利用するための専門機関による研修を項目に入れている。また、8月から県内においても実績のある業者に委託し、ICT 支援員を1名配置している。また、今年度中に1名を増加し2名体制とし、1人1台が本格稼働する来年度には4校に1人の支援員の配置をしていき、教職員へ操作支援や授業支援、研修支援を行い、ICT 機器の活用に対し、しっかりとサポートをしていきたいと考えている。</p> <p>学校現場において、どのように ICT 機器を使っていくのかは活用であると思う。ICT 機器を学ぶのではなく、ICT 機器を活用して授業にどう活かしていくかである。昨年度まで桜山小で2年間研究している。その内容は、問題解決学習プラス ICT 機器の活用。情報提示の仕方、視覚化・共有化・焦点化この3つをユニバーサルデザインの授業にどのように ICT 機器を活用することができるのかという提示をしている。この研究成果を活かすとともに初めて桜山小に赴任した先生のための手引きが作成されている。桜山小には、現在ウィンドウズマシンが導入されているが、今回導入されるアイパッドでも同様に使用することができるため、迷わないでいように教委でも学校現場と一緒にチェック表も作っている。使用にあたり、サポートできるよう進めていきたいと考えている。</p>
委員	桜山小の子どもが生き生きとしているのは、見て感心するところ。ただ、それを桜山小でしたからといって荒尾市は安泰とは言えない。桜山小で実施したものを市内の学校で共有していかないといけない。そのためには先生たちが共通理解しないとイケない。
教育長	今ご意見をいただいた内容についてはしっかり検討していきたい。教育委員会で考えている根底にあるのは、教育というのは人づくりである。人づくりが基盤にあり、ICT 機器の活用はあくまでも手段の一つと考えている。ICT 機器を使用して、仲間づくりや人間関係をつくり、最終的に人づくりとなると考えている。

【その他 (3) 10月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の第 10 回定例教育委員会は 10 月 26 日（月）10 時 00 分から開催したいと思います。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の第 10 回定例教育委員会は 10 月 26 日（月）10 時 00 分から開催します。

【その他（5）その他 令和 3 年荒尾市成人式開催要項(案)について】

○事務局説明

○質問

委員	来年の新成人の総数は何名か。
事務局	約 500 名。
委員	式典の様子が遠隔で見ることが可能な Zoom（ズーム）にしたのは、個人情報の観点からか。誰がみるか分かるようになるのか。
事務局	遠方で帰省されない新成人のためとコロナウイルス感染症対策として非接触で何かできないかというところで、市の情報部局に相談したところ、リモートであれば Zoom でライブ配信が可能であるということであった。認証できるのは新成人 500 人と保護者を対象とし、1000 人を想定。Zoom にしたのは、動画を残さずにライブ中継で配信するだけにしたため選択したものの。
委員	Zoom は 45 分しか見ることができないがどうか。
事務局	有料契約して対応する予定。

教育長

○閉会宣言 令和 2 年 9 月 28 日（月） 11 時 05 分